

津波から身を守るために

津 波の恐れがある地域にいる方や海沿いにいる方は、地震に伴う強い揺れ、または長時間ゆっくりとした揺れを感じた場合、津波警報等の発表や避難指示（緊急）の発令を待たずに、自発的かつ速やかに避難行動をとるようにしましょう。

津波から身を守るための行動

状況	まずとるべき行動	その後の行動
強い地震や長時間の揺れを感じた場合	<p>避難!</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 海岸にいる人は、直ちに海岸から離れ、すばやく高台や避難タワーなどの安全な場所へ避難 ● 沿岸部にいる人は直ちに避難 	<ul style="list-style-type: none"> ● 正しい情報をラジオ・テレビ・防災無線などで入手する ● 津波は繰り返し来襲するので、警報・注意報が解除されるまでは絶対に近づかない
大津波・津波警報が発表された場合（揺れを感じなくても）		
津波注意報が発表された場合（揺れを感じなくても）	<p>備える!</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 海水浴や磯釣りはすぐに中止し、すばやく陸上の安全な場所へ避難 ● 沿岸部にいる人はいつでも避難できるように準備 	

津波から避難するポイント

①地震の揺れの程度で自ら安全だと判断しない

津波の危険地域では、小さい揺れでも、揺れを感じなくてもまずは避難を最優先にしましょう。



②避難に車を使わない

原則、車での避難はやめましょう。東日本大震災では車での避難による渋滞発生で被害を大きくしました。



③「遠く」よりも「高くに」

小さい揺れでも、揺れを感じなくても、まずは近くの高台などへの避難を最優先にしましょう。



防災のススメ

「もしも」に備えを!

■防災対策課 ☎57-8501



LGBT って?

人権課 ☎57-8507 FAX 56-0576

	L レズビアン	G ゲイ	B バイセクシュアル	T トランスジェンダー
性自認	女性	男性	問わない	身体的性別と異なる性自認
性的指向	同性	同性	同性・異性	問わない

LGBTはセクシュアリティ（性のあり方）の一部です。これ以外にも様々なあり方が存在します。大事なのは定義=どのセクシュアリティに当てはまるかではありません。性自認・性的指向は、どんな人であろうと意識して変えることのできないものであるということです。

性自認・・・自分が自身の性別をどう認識するか
性的指向・・・どんな性別（男性、女性、両性）の人を好きになるか

知ってほしい、こんな困りごとがあります。でも、ほんの一部です。

L G B T

上司に彼氏(彼女)できたの?と聞かれる。

恋人がいるかなんて、職場で聞いてほしくないし、同性を好きになる人もいるということを知ってほしい...

※このような発言はセクハラにあたる場合があります

T

あの人、男かなあ...、女?

人の目が気になってトイレに行くのを我慢してしまう

学校で男女別に決められた制服が着られない

しゃべり方や仕草をからかわれて、しゃべることが苦手を感じる。学校も行きたくない...

L G B T

賃貸の部屋や借家は同性カップルでは借りられないことが多い

配偶者に適用されるさまざまな社会保障制度は、日本では結婚できないから適用されない

恋人と結婚したいけど...

L G B T

原則1 「想定にとられるな」
相手は自然、その想定を超えることもあります。

原則2 「最善を尽くせ」
その時にできる最善の対応行動をとしましょう。

原則3 「率先避難者たれ」
自分が率先して避難。その姿を見て他の人も避難します。

性別に違和感を持つ人がいること、恋愛や家族の形はいろいろあることを知ってお互いに認め合いましょう